

ル・コルビュジェ「カップ・マルタンの休暇小屋」実測・施工図面の教材化
その 2：断面図を中心に

八代研究室
01612149 竹田 弥生

1. はじめに

現在大学キャンパスには、ル・コルビュジェが設計した「カップ・マルタンの休暇小屋」（以下、休暇小屋）の原寸レプリカが設置されている。これは、2011 年にスタートした学長プロジェクトの成果である。レプリカ制作は実際に現地であるフランスに赴き、現物を詳細に実測して図面を起こし、それに基づき制作されたものである。本研究は、原寸レプリカの実測・施工図面の断面図を中心に教材化することを目的とする。

2. 修正図面（表 1）

休暇小屋の原寸レプリカ制作を一冊の本にまとめるにあたり、図面の整理を改めて行った。その際に図面（平面図、立面図、断面図、建具図、家具図、展開図、天井伏図、金物図：下線が担当した図面）の不明確な箇所をレプリカで検証し、修正を加えた。表 1 に修正図面の種類、縮尺、主な修正内容を記す。

表 1. 修正図面一覧

図面の種類	縮尺	修正内容
立面図	1/50	(縮尺) 1/20→1/50 (枚数) 4 枚→1 枚
断面図 ①長手方向 ②短手方向	1/20	
建具図 ①引き違い戸 ②片引込戸 ③片開き網戸 ④片開きガラス窓・フラッシュ折戸 ⑤片開きフラッシュ戸 ⑥片開きフラッシュ窓(1) ⑦片開きフラッシュ窓(2) ⑧脇込引手・門 ⑨木製打掛け	1/10 1/5 1/2 1/1	①(枚数) 2 枚→1 枚 ②(縮尺) 1/10→1/5 ③(縮尺) 1/5→1/10 ④(枚数) 4 枚→1 枚 ⑤(縮尺) 1/2→1/1
家具図 ①コート掛け ②サイドテーブル ③トイレ埋込棚 ④ベッド・ベッドボード ⑤箱形スツール ⑥本棚・机・飾り棚	1/10 1/5	①(枚数) 3 枚→1 枚 ②(縮尺) 1/5→1/10 ③(縮尺) 1/5→1/10、1/20→1/10 ④(枚数) 2 枚→1 枚 ⑤(縮尺) 1/5→1/10 ⑥(枚数) 6 枚→1 枚
展開図	1/50	(縮尺) 1/20→1/50 (枚数) 5 枚→1 枚
金物図 ①スイッチ ②タオル掛け ③ランプシェード ④レバーハンドル ⑤蝶番	1/1	①(枚数) 3 枚→1 枚 ②(枚数) 7 枚→1 枚 ③(枚数) 5 枚→1 枚

3. 整理・修正の内容（図 1、2）

以下では、表 1 の修正図面一覧から立面図と断面図を主な項目として挙げる。

3-1. 立面図（図 1）

立面図では、まず GL を一番太い線として外形線と差をつけ、スレート屋根、丸太、建具等の線は全て細線とした。次に屋根と丸太の書き込み③④を行った。実物の質感を感じられるよう、細かな線の修正を加えた。原寸レプリカ独自の西面の壁画の挿入⑤、南面の正方形窓の位置を強調するためのセンターラインの挿入⑨を行った。建具は建具図面通りの表現にすると密度が濃くなるため、金物等を消去⑩した。さらに現地の休暇小屋との比較のために立地と既存の建物⑪⑫を表した。

3-2. 断面図（図 2）

断面図では、まず断面部分の線の太さを修正した。隣接した断面部分は一段階線を細くし見やすくした。次にハッチングによる細かい点の修正⑤を行った。隣接する異なる部材を線の角度を変えて区別し、より見やすい図面へと修正を加えた。造り付けの家具や目地の挿入⑥⑦、ル・コルビュジェの描いた廊下の壁画や壁紙の挿入⑧を行い、より忠実に再現した。その他に、水勾配、土台、床、天井、屋根、外壁などの部材や寸法の記入⑨を行った。また割栗石⑬は略式記号ではなく石を小端立てにした表現とした。

4. おわりに（図 3）

本研究で教材化となる実測・施工図面の整理を行うにあたり、計測と検証を重ね細かな修正を繰り返し行った。改めて建築物を見直すことにより、より詳細な図面へ近づくことが出来た。さらに本制作で得た成果をもとに、折り紙建築で休暇小屋を再現することで図面と建築物を比較しやすくし、建築物との距離を縮めることができる。また、本大学の教材として活用することが見込める。

【謝辞】

本制作にあたり多大な時間と労力を割いていただいた藤原成暁名誉教授に心から感謝の意を表します。

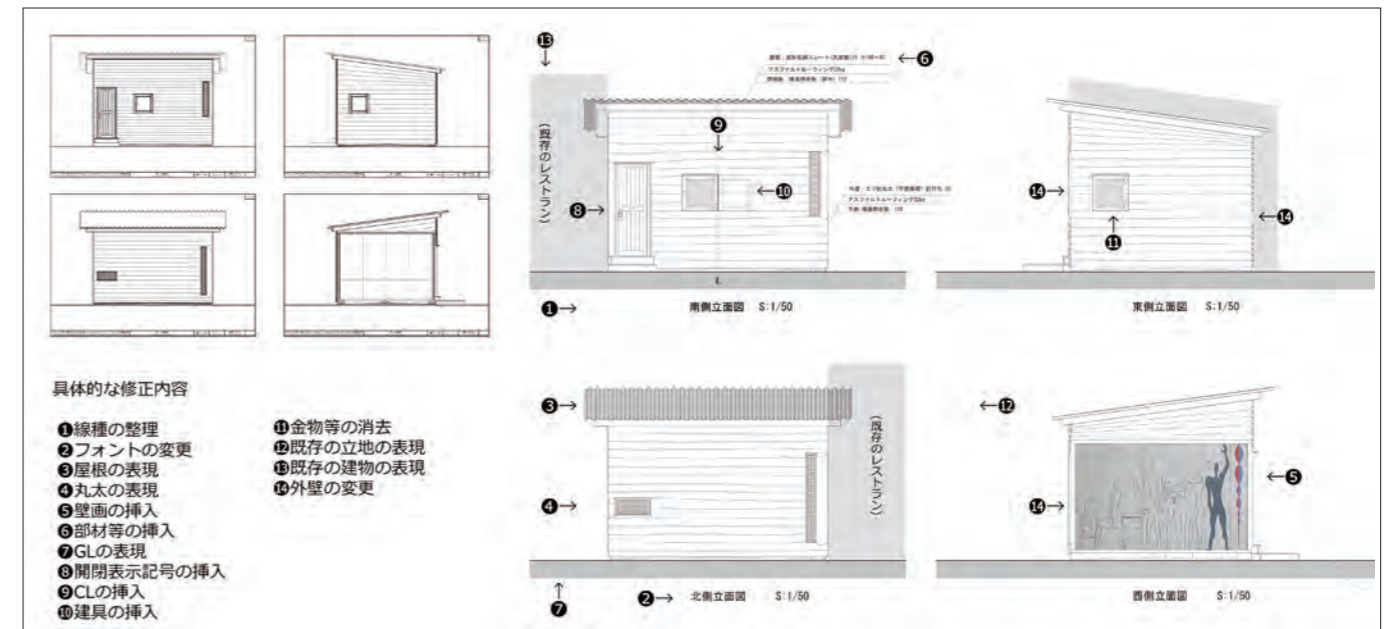


図 1. 立面図の教材化（左上：元図、右：修正図面と修正箇所）

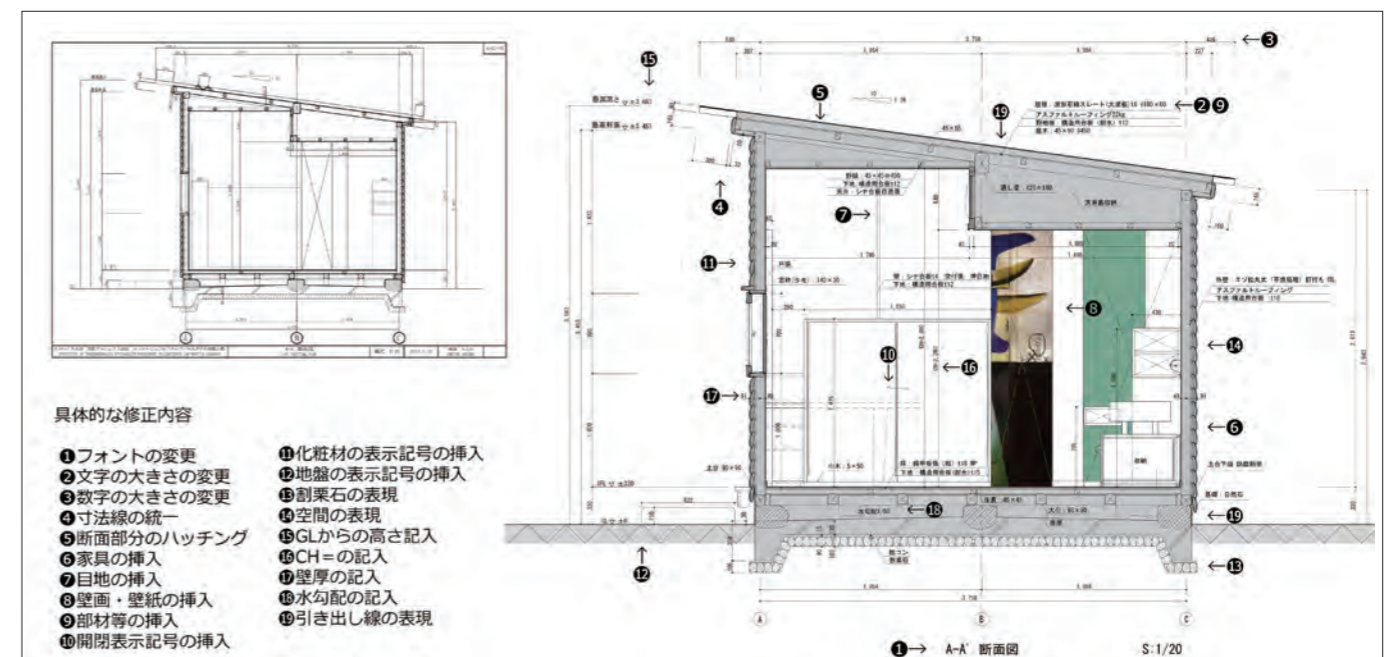


図 2. 断面図の教材化（左上：元図、右：修正図面と修正箇所）

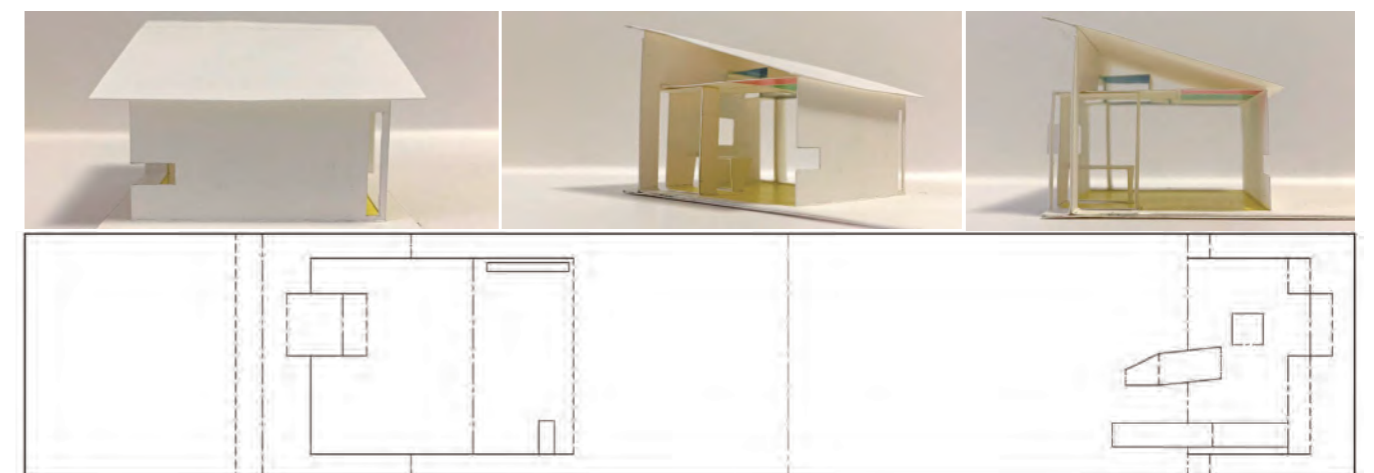


図 3. 折り紙建築（上：完成写真、下：図面）